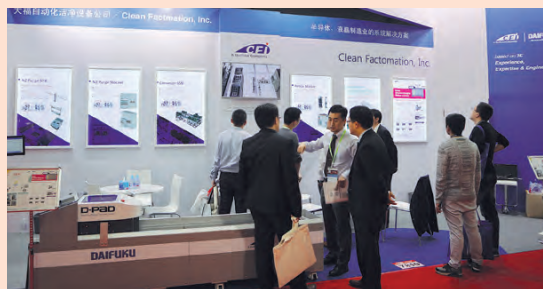


▶ グループ会社が展示会に出展

3月14日から16日まで開催された「FPD China 2018」「SEMICON China 2018」に、当社グループの韓国法人であるClean Factomation(CFI)が出展しました。ブースでは、非接触充電システムを搭載した無人搬送車の実機デモンストレーションを行うとともに、CFIが独自に開発した半導体工場向け搬送・保管システムなどの動画を放映しました。

また、3月13日から15日までドイツで開催された「LogiMAT 2018」に、当社ドイツ支店が出展。バーチャルリアリティ(仮想現実)を活用した最先端の物流センターを体験いただきました。



CFIブースでは無人搬送車の自動充電などが注目を集めた。

▶ 資本金を318億円に増資

新株式の発行(公募で248万株、第三者割当て上限52万株)および自己株式の処分による売り出し(100万株)による資金調達の結果、資本金は150億1,610万円から318億6,530万円になりました。

調達した資金は223億円で、今後、設計力およびソフトウェア開発力の強化を目的とした本社新事務棟の建設・設備投資、滋賀事業所などの建物や製造設備の維持・更新、業務効率化のための設備投資、Daifuku North America Holding Companyグループの工場建設・設備投資などに充当していきます。



2019年12月完成予定の本社新事務棟。

▶ しが生物多様性大賞を受賞

2月7日、ダイフク、旭化成株式会社、旭化成住工株式会社、積水樹脂株式会社の4社で組織する「生物多様性 湖東地域ネットワーク」が、平成29年度「しが生物多様性大賞」の協働部門大賞を受賞しました。同賞は、滋賀県内の企業や団体による生物多様性の保全・活用の取り組みの中で、特に優れた活動を表彰するものです。

今回、湖東地域に生息するトンボのモニタリング調査や保全活動の取り組みが評価されました。



企業部門、協働部門合わせて5件の事例が選定された。

▶ 健康経営の取り組みが評価

経済産業省と東京証券取引所は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業として「健康経営銘柄2018」を発表し、当社が選定されました。2006年に「こころと体の健康づくり委員会」を設置し、健康施策やイベントを実施してきたことなどが高く評価されました。

また、保険者と連携して優良な健康経営を実践している法人を顕彰する「健康経営優良法人2018(ホワイト500)」にも2017年に続き認定されました。



2月20日に東京都内で行われた表彰式。

まだ見ぬ生活者ニーズが、
物流を変えてゆく。



HE ORDERED A NEW CLUB.

Lot number 015146823 / Order complete

• This driver offers superior flight distance and accuracy
• LOFT: 10.5 FREX: 5 / SHAFT: 45.75 / BALANCE: D2+

eコマースによって変化してゆくニーズに、物流はどう応えるか。
先端技術を駆使した「マテハン」が、次への確かな力になります。

私たちダイフクは80年にわたって技術を磨き、常にお客様に最適な物流システムを提供してきました。時代は今、流通革命。急速に発展するeコマースにより、生活者ニーズは日々、新しくなってゆきます。このeコマースを支え、牽引しているのが、ダイフクのマテリアル・ハンドリングシステム「マテハン」。目的の商品を素早く探し出し、正確に仕分けして、生活者のもとへ。さらに世界23の国・地域に拠点を構え、IoT・AI等あらゆる最先端テクノロジーを駆使した、最適・最良のソリューションを物流の最前線へ。今こそ「マテハン」を選ぶとき。デジタル革命に適応して、次へと挑むとき。最適解は、ここにある。

マテハンを選ぶときが来た。

DAIFUKU
Always an Edge Ahead

www.daifuku.com/jp